

西暦(和暦)	平泉寺での主なできごと	国内と勝山市内の主なできごと
710(和銅3)		平城京へ都を移す。
717(養老1)	伝、泰澄白山を開く。	
784(延暦3)		長岡京へ都を移す。
794(延暦13)		平安京へ都を移す。
832(天長9)	白山信仰の拠点として、越前の平泉寺、加賀の白山本宮、美濃の長滝寺の三馬場が開かれる。	
1084(応徳1)	平泉寺、延暦寺末となる。	
1147(久安3)	延暦寺と園城寺が対立し、平泉寺は延暦寺側につく。	
1183(寿永2)	源(木曾)義仲、藤島七郷を平泉寺に寄進する。	
1190(建久1)	平泉寺長吏の齋明、源義仲軍に参加し、燧城で戦う。源頼朝、藤島荘の公事未済を平泉寺に指示する。(これ以前、源頼朝、藤島荘を平泉寺に寄進する)	
1192(建久3)		源頼朝、鎌倉幕府を開く。
1195(建久6)	源頼朝、平泉寺領藤島荘の年貢1000石を没収する。	
1214(建保2)	京都の青蓮院と梨本坊、平泉寺の長吏職を争い、後白河法皇の院宣で青蓮院の実暹が任命される。	
1292(正応5)	時宗二世他阿、府中で平泉寺僧に乱暴される。	
1333(元弘3)	平泉寺衆徒、大野郡牛原荘の地頭淡河時治と戦う。時治敗れて自害する。	
1338(建武3)		足利尊氏、室町幕府を開く。
1440(永享12)	平泉寺、火災のために焼失する。室町幕府、北陸道七か国の棟別銭を平泉寺造営費用にあてる。	
1467(応仁1)		応仁・文明の乱(~1477)
1471(文明3)	朝倉氏、一乗谷を本拠とする。以後、平泉寺は朝倉氏と結ぶ。	
1493(明応2)	このころ、平泉寺から三光坊(千秋満広)、財蓮(熊太夫ともいう)、大光坊幸賢などの面打師が輩出する。平泉寺杉本坊の杉本栄祐、京都で神符と丸薬を販売する。	
1500(明応9)	平泉寺西蓮院の豪仙が白山権現講式を书写する。	
1524(大永4)	平泉寺で臨時祭礼があり、流鏝馬神事が奉納される。	
1541(天文10)	平泉寺賢聖院の充海が学頭職を顕海に譲る。	
1573(天正1)	朝倉義景は、姉川の合戦で近江の浅井氏を救援するが、織田信長に破れ一乗谷に退く。その後、大野で一族の朝倉景鏡の反逆にあい、自刃する。一乗谷焼亡、朝倉氏滅亡する。	
1574(天正2)	平泉寺、本覚寺等の越前一向一揆勢に攻められる。平泉寺の衆徒、一揆勢の立てこもる村岡山を攻撃する。宝光院等の坊主、衆徒が討死にし、平泉寺も攻撃され焼亡する。	
1575(天正3)		柴田義宣、勝山に入る。
1580(天正8)		柴田勝安、本拠を村岡山より袋田村に移し、勝山と改称する。
1583(天正11)	顕海が美濃より帰還し、平泉寺を再興する。羽柴(豊臣)秀吉、平泉寺に禁制札を与える。	
1601(慶長6)	福井藩主結城秀康、白山御供田として平泉寺村のうち高200石を寄進する。	
1603(慶長8)		徳川家康、江戸幕府を開く。
1624(寛永1)	徳川家光、白山社領として平泉寺村のうち高200石を安堵する。	
1626(寛永3)	福井藩主松平忠昌、白山社領として野中村(永平寺町)のうち高100石を寄進する。	
1630(寛永7)	勝山藩主松平直基、白山社領として平泉寺村より高30石を寄進する。	
1631(寛永8)	平泉寺、上野寛永寺末となる。また、一山衆徒心得を決定する。	

1668 (寛文8)		白山麓十六か村と尾添・新谷村、幕府領となる。
1691 (元禄4)		小笠原貞信、美濃(岐阜県)の高須から勝山へ移る。
1702 (元禄15)	勝山藩主小笠原貞信、平泉寺村のうち高30石を安堵する。	
1729 (享保14)	平泉寺と牛首・風嵐村との間に、白山領の境界について争論が生じる。	
1732 (享保17)	白山争論。白山天嶺は平泉寺境内と、幕府が裁許する。	
1742 (寛保2)	平泉寺と美濃長滝寺および石徹白村との間に、白山の別山社の補修について争論があり、幕府の裁定で平泉寺が勝訴する。	
1795 (寛政7)	福井藩主松平重富、平泉寺白山社の本殿を造営する。	
1833 (天保4)		天保の大飢饉おこる。
1839 (天保10)		このころ、木下家住宅完成。
1859 (安政6)	平泉寺白山社の拝殿が再興される。	
1868 (明治1)		明治維新
1870 (明治3)	平泉寺寄進地領がすべて没収となる。平泉寺の名称を廃し、白山神社となる。	
1873 (明治6)	白山天嶺の三社が白山比咩神社の本社となる。	
1930 (昭和5)	旧玄成院庭園、国指定名勝となる。	
1935 (昭和10)	白山神社境内、白山平泉寺城跡として国指定史跡となる(約14.6ヘクタール)。	
1989 (平成1)	平泉寺坊院跡などの発掘調査が開始される。	
1997 (平成9)	史跡白山平泉寺旧境内として、約200ヘクタールに史跡拡大される(官報告示3/10)。史跡保存管理計画策定。	
2000 (平成12)	史跡整備基本計画策定。	
2006 (平成18)	霊峰白山と国史跡平泉寺を含む白山麓の歴史遺産を世界遺産に登録する取り組み開始。	
2008 (平成20)	史跡等総合整備活用推進事業開始(~平成24年度)。	

※「泰澄和尚伝記」「平家物語」「太平記」「朝倉始末記」「平泉寺文書」「平泉寺史要」「勝山市史」などをもとに作成しました。